

理想の大学職員って？

行政管理学会北関東・信越地区研究会
北関東・信越地区 **鈴木氏(高崎商大)**が講演

行政管理学会北関東・信越地区研究会は、7月8日、群馬県の共愛学園前橋国際大学で、研究会を開催した。テーマは「理想の職員。ってどんな人？」。フレイクストミーングワークショップとし、高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部の鈴木洋文事務局長をファシリテーターとして迎えた。

鈴木氏は以前のオンライン研究会で、大学職員の自立の重要性を説き、フレイクストミーング手法として面白法人カヤックの「プレストカード」を提案していた。今年はこのコロナ禍から脱し、参加者全員が楽しむことができ



高崎商科大の鈴木洋文氏

た。その後、理想の職員をイメージする作業を実施。変換した結果を発表しつつ、理想と現実の課題をグループ内で話し合った。

ワークの最後には、職員採用に関するキャッチコピーを個々に作成。「『それ、やってみよう』そんな『キミ』がほしい」など、工夫を凝らしたキャッチコピーを提出し、参加者間で投票を行い、得票数が多かった作品について作成者が説明するワークも実施した。

参加者からはプレストカードを用いたアイスブレイクが好評であり、総じて楽しく学べたと満足度も高い結果となった。次回は2024年2月を予定。1月初旬頃に学

会ホームページにて開催案内を掲出する。そのほか、9月2日、3日には第27回定期総会・研究集会も実施予定。詳しくは学会ホームページへ。
(http://juam.jp)